

花矢図書館だより

2
2021



大館市立花矢図書館
TEL・FAX
0186(46)1557
火～金：9:00～19:00
土・日：9:00～17:00

【一般書】

- ・なぜか話しかけたくなくなる人、ならない人(有川 真由美)
- ・家で災害に耐える ～家にいて守ろう～
- ・おうち養生きほんの100 (田中 友也)
- ・作りおきできる。がっつり!ごはんの友 (上島 亜紀)
- ・吉永小百合私の生き方 (築山 卓観)
- ・動物警察24時 (新堂 冬樹)
- ・傍聴者 (折原 一)
- ・一橋桐子〈76〉の犯罪日記 (原田 ひ香)
- ・復讐の協奏曲(コンチェルト) (中山 七里)
- ・死の扉 (小杉 健治)
- ・京都四条月岡サヨの小鍋茶屋 (柏井 壽)
- ・ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人(東野 圭吾)

- ・江戸染まめ (青山 文平)
- ・Seven Stories (糸井 重里)
- ・見果てぬ花 (浅田 次郎)
- ・人生起き上がりこぼし (海老名 香葉子) 他

【児童書】

- ・おもしろ大発見!世界スゴすぎ事典
- ・絶叫学級 緑りかえすコドモたち編
- ・SNSトラブル連鎖 (高橋 幹子)
- ・宇宙人がいた (やまだ ともこ)
- ・にんじゃいぬタロー (絵本)
- ・じごくわらしがくるぞ! (絵本)
- ・てあらいできるかな (絵本)
- ・い〜れ〜て! (絵本) 他

◆今月のおすすめ図書◆

『今度生まれたら』内館牧子著

70歳になった佐川夏江は、夫の寝顔を見ながらつぶやいた。「今度生まれたら、この人とは結婚しない」夫はエリートサラリーマンだったが、退職後は「蟻んこクラブ」という歩く会で楽しく余生を過ごしている。2人の息子は独立して、別々の道を歩んでいる。でも、実は娘がほしかった。

自分の人生を振り返ると、節目節目で下してきた選択は本当にこれでよかったのか。進学は、仕事は、それぞれ別の道があったのではないか。やり直しのきかない年齢になって、夏江はそれでもやりたいことを始めようとあがく。

2大ベストセラー『終わった人』『すぐ死ぬんだから』の著者が放つ最新「高齢者」小説!

『すごい科学者のアカン話』

ケンカ屋のガリレオ、すねかじりのダーウィン、借金まみれの野口英世など、小学生が知りたい40人の科学者について、すごいところもダメなところも笑えるイラストで包み隠さず紹介。それぞれの発明や発見についても、図でわかりやすく解説しています。科学に興味がわく1冊です。



◆2月のあれこれ◆

【節分】節分とは、「鬼を追い払って新年を迎える、立春の前日の行事」です。

立春の前日ですが、立春の日付は年により異なるため2月3日とは限りません。今年は2月2日(火)で37年ぶりに日付が変わります。

【豆まき】豆まきには「鬼を打ち払う」意味と、「豆を投げ与えて恵み、静まってもらう」という2つの意味が込められています。豆は大豆が伝統的ですが北海道、東北、信越地方は落花生が一般的です。豆まきが終わったら年の数だけまたは年の数+1個、豆を食べるのがならわしです。この豆は「年とり豆」と呼ばれます。

【恵方巻】江戸時代末期頃、関西を中心に流行っていたといわれています。節分の夜にその年の恵方(年神様のいる方角)を向いて食べると、商売繁盛や無病息災で過ごせるなど縁起が良いとされています。具はさまざまですが基本は7種。これは七福神にちなんでいるという説もあります。包丁では切らず、頭から無言でまるかじりするのがよい、とされています。今年の恵方は「南南東」です。



◆今月のテーマ◆

- 大人向け 『健康づくり』
- 子供向け 『せつぶん・おに』



◆おはなし会◆

- 日時 2月17日(水)
10:30~11:00
- 場所 花矢図書館 児童室

